

警 察 署 協 議 会 会 議 録

東警察署協議会

開催年月日時	令和7年10月30日 午後4時00分 から 同 日 午後5時30分 まで	
開催場所	東警察署会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下15名
	警 察 署	署長、副署長、会計管理官、生活安全管理官 地域管理官、刑事管理官、交通管理官 総務第一課長、総務第二課長、警備課長
議 事 概 要		
※ 議事に先立ち、白バイ慣熟走行見学を実施 【会長挨拶（要旨）】 ○ 東警察署協議会の過去の議事録の内容と、現在テレビで取り扱われている事件・事故は異なっており、犯罪の変化は速いと感じる。 ○ 本日も皆様と色んな意見を交わしていきたい。 【署長挨拶（要旨）】 ○ 白バイの慣熟走行を見ていただいたが、現場に駆け付ける警察官に事件事故がないよう、先程のように訓練を積んだ者が現場に赴いている。 ○ 管内では死亡事故や、様々な形態の特殊詐欺が発生している。犯罪予防のため広報・啓発活動をしていきたい。 ○ 本日も皆様から貴重な意見をいただき、有意義な会議にしていきたい。 【東警察署幹部による自己紹介】 【福岡県警察逮捕術大会結果報告】 【報告事項等】 1 管内情勢報告（地域管理官） 2 交通講話（交通管理官） 【質疑応答】		

議 事 概 要

- 委員から「飲酒運転車両の走行に特徴はあるのか。」旨の質問があり、交通管理官から「判断能力が低下するのでふらつきや、信号が青になったのに発進しないといった特徴がある。」旨の回答があった。
- 委員から「自転車を盗まれたときは110番して良いのか。また、110番した後はどうすればいいのか。」旨の質問があり、地域管理官から「自転車を盗まれた際は110番しても良いし、交番・警察署に来ていただいても良い。盗難被害に遭った自転車について防犯登録をしているのであれば、その控えを持ってきていただくと被害届の受付がスムーズにいく。」旨の回答があった。
- 委員から「東警察署は自転車盗等の発生が多いと伺ったが、協議会委員として事案に対応する東警察署の定員が増えることを望む。」旨の意見があった。
- 委員から「他県で指定暴力団の組員数が上昇し始めたというニュースを見た。暴力団員は減少傾向にあると思ったが、これはどういう状況なのか。」旨の質問があり、署長から「他県のため明確な答えはできないが、特殊な状況である。全国的には暴排運動のお陰で暴力団員及びその周辺者は減少している。当県では、暴力団に所属せずに犯罪を犯す『匿名・流動型犯罪グループ』が増加している。」
- 委員から「警察署定員の見直しはあるのか。」旨の質問があり、署長から「毎年、全県下の情勢に応じて本部が見直しを行っている。」旨の回答があった。
- 委員から「飲酒運転検挙件数を教えて欲しい。」旨の質問があり、交通管理官から「今年の1月～8月末までの検挙件数は153件であり、内自転車による件数が86件あった。」旨の回答があった。
- 委員から「警察署から問合せの電話が公民館に掛かってくるが、内容により警察騙りの特殊詐欺も多く電話で回答しにくいものである。直接公民館へ来ていただけると助かる。」旨の意見があり、地域管理官から「ご意見として承知した。内容により電話で事前連絡した上で訪問している。訪問の際には必ず警察手帳を見せ、身分を告知するようにしているが、今後もこれを徹底していく。」旨の回答があった。
- 委員から「高齢者が落とし物を拾って交番に電話したら『交番に持って来てください』と言われた。高齢者は交番まで行くのが大変である。そのような場合は、落とし物を公民館で預かって交番へ持っていく等の対応を執りたい。」旨の意見があり、地域管理官から「状況に応じて自宅へ訪問する等の対応をとるよう指導していきたい。」旨の回答があった。
- 委員から「犯罪捜査にAIは活用されているのか。」旨の質問があり、地域管理官から「警察庁においてAIの活用を検討しているものと承知している。」旨の回答があった。
- 委員から「警察署がIVR（自動音声案内システム）を導入したことによって110番の件数に変化はあったのか。」旨の質問があり、地域管理官から「令和6年の110番件数が増加した要因として、IVRの導入、新型コロナウイルス感染症の5類への変更後の人流の増加、インバウンドの増加等とされている。」旨の回答があった。

議 事 概 要

- 委員から「認知症の疑いがある高齢運転者を認めた場合、一般人としてできることは何か。」旨の質問があり、交通管理官から「客観的状況から認知症の疑いがある場合、警察署に相談して欲しい。その後、臨時適性検査等を経て認知症と診断されたら免許取消又は停止処分になる。」旨の回答があった。
- 委員から「道路上の寝込みによる事故について、防止策があれば教えて欲しい。」旨の質問があり、交通管理官から「寝込みによる事故の多くは、歩行者が飲酒した状態で発生している。ドライバーの観点からは、夜間のハイビームの活用、ロービームの時は速度を落として運転するなどして防止して欲しい。」旨の回答があった。
- 委員から「孤独死の恐れのある通報があった場合、民生委員として家族へ電話し、家族の許可が出れば警察官と一緒に玄関のドアを壊すなどしているが、この対応に問題はないか。」旨の質問があり、刑事管理官から「その対応で問題ない。」旨の回答があった。
- 委員から「東警察署管内は自転車盗の件数が多いと伺ったが、福岡県全体で増加傾向にあるのか。」旨の質問があり、地域管理官から「各警察署の発生状況を見ると、増加している署と減少している署とあるが、東警察署では増加している。」旨の回答があった。
- 委員から「自転車に新しく罰則が適用されるようになったが、分かりやすい資料はあるか。」旨の質問があり、交通管理官から「昨年11月に自転車を運転しながらの携帯電話の使用と酒気帯び運転について罰則が適用された。令和8年4月以降、16歳以上の運転手を対象として、自転車に反則通告制度が適用される。本制度について警察庁がHPで公開している資料は存在する。」旨の回答があった。
- 委員から「東署の令和7年1月～9月の検挙率は暫定で25.3%とあるが、残りの約75%はどうなっているのか。」旨の質問があり、地域管理官から「凶悪犯及び粗暴犯についてはその多くを検挙している状況である。一方、窃盗犯については未検挙件数が多く、検挙率を下げている要因となっている。」旨の回答があった。
- 委員から「横断歩道を増やすことはできないのか。」旨の質問があり、交通管理官から「同じ路線にいくつも横断歩道を作ると車両の通行の妨げになる。その場所に応じて横断歩道の必要性があるかどうかを判断する必要がある。」旨の回答があった。
- 委員から「自転車の事故はどのような形態が多いのか。」旨の質問があり、交通管理官から「自転車に関しては出会い頭の事故が多い。」旨の回答があった。
- 委員から「自転車専用通行帯を設置するための基準を教えてください。」旨の質問があり、交通管理官から「原則、自転車通行帯を作るには、幅員を1.5m確保しなければいけない。」旨の回答があった。

【事務連絡】

総務第二課長より、次回の警察署協議会は令和8年2月に開催予定である旨の説

様式第3号（第5、第6の1、第6の2関係）（その2）

議 事 概 要
明があった。
【閉会】 総務第二課長から終了挨拶があった後、閉会した。